

調査日：2016年10月22日（土）

調査者：荒木秀夫 広島工業大学工学部 教授

調査目的：平成28年（2016年）鳥取中部を震源とする地震によるRC造建物等の被害状況の調査

調査地域：鳥取県倉吉市，東伯郡湯梨浜町、北栄町

調査対象：RC建物を主たる調査対象としたが、その他の鉄骨造、木造建物の被害も記録した。

調査行程 全行程を自家用車で移動

5：00 広島発

7：30 米子道湯原IC着→313号線

8：30 倉吉市着 徒歩で市内調査（広瀬町・葵町・東町）

12：00 179号線（道沿いに目視調査）

12：30 東伯郡湯梨浜町

13：00 9号線→313号線（道沿いに目視調査）

13：00 北栄町弓原→320号線→北栄町

14：00 北栄町→大栄東伯IC発→山陰道

17：00 広島着

今度の目視による外観調査では建物被害状況は木造屋根瓦の破損が最も多いように思われる。比較的新しい建物でも棟瓦等の落下が見られた。その他、古い建物の外壁落下、破損等が散見された。RC造建物の被害は調査範囲内ではそれほど多くない。倉吉市庁舎は築50年を超えているが耐震補強されているため、大規模な損傷を免れている。倉吉市内中心部に建つ集合住宅（マンション）の雑壁等にはひび割れは見られなかった。倉吉市内に柱がせん断破壊していたRC建物が1棟あり、主筋は丸鋼であった。今回の調査範囲内ではRC建物の被害はあまり見られなかったが、2000年の鳥取県西部地震ではRC造建物の被害が山間部に点在しており、今後も被害状況を確認する必要がある。

本地震により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、困難な時期にも関わらず、調査に快くご協力いただいた熊本の皆様に心よりお礼申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

### 【RC造】

Y学校 1988 倉吉市中河原

外観上、異常は見られない。



倉吉本庁舎（倉吉市葵町） 1956  
日本建築学会賞 1958 耐震改修 1997~1998 国登録有形文化財 2007  
耐震補強 正面、後面：枠組み鉄骨ブレース



窓ガラス破損



窓ガラス破損



柱の軽微な曲げひび割れ



梁の曲げひび割れ



階段手摺破損



外構被害





倉吉市北庁舎（倉吉市東町）  
外観上、異常は見られない。



集合住宅（倉吉市東町）  
雑壁等のひび割れは見られない。



倉吉私立東中学校（倉吉市東町）1967年  
外観上、異常は見られない。



O 病院（倉吉市福吉町）  
1階柱のせん断ひび割れ（角地に立つ偏心建物と思われる）



鉄筋は丸鋼



JA 鳥取中央 (倉吉駅付近)  
玄関脇の柱または袖壁のせん断ひび割れ



湯梨浜町役場 (東伯郡湯梨浜町久留)  
外観上、異常は見られない。



北栄町役場大栄庁舎 (伯郡北栄町由良宿)  
外観上、異常は見られない。  
耐震改修 正面：鉄骨ブレース



後面：外付け RC 造フレーム



【鉄骨建物】  
建物 (倉吉市福吉町) 外壁モルタルの破損





倉吉市東町

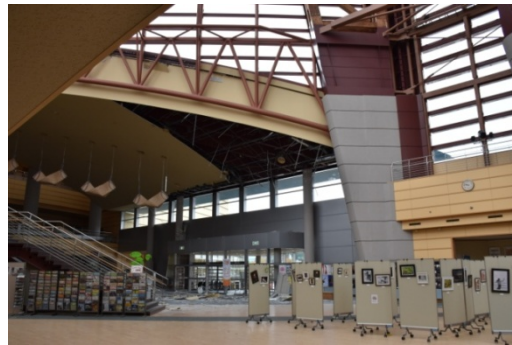


倉吉市駄経寺町



倉吉未来中心（倉吉市駄経寺町） 2000年

天井落下



【木造建物】  
屋根瓦の破損が多い  
東伯郡北栄町

倉吉市東町



倉吉市金関町

倉吉市東町



倉吉市駄経寺町



倉吉市東町



外壁モルタルの破損  
倉吉市東町



倉吉市葵町

